



男子優勝チーム 「鳴東 V B C」

〈男子決勝戦〉

鳴東 VBC(名古屋 第1) 2 $\left(\begin{array}{c} 21-19 \\ 21-12 \end{array} \right)$ 1 スピリッツ(名古屋 第2)

決勝戦は、奇しくも支部予選決勝と同一カードとなった。第1セット序盤は、スピリッツが4-0とリード。鳴東も巻き返すが、スピリッツリードのまま終盤に突入。ここで鳴東がエースのスパイク、サーブによる連続得点で逆転し、第1セットを先取。波に乗った鳴東は、第2セット序盤から1-9と大きくリード。スピリッツもエースの強打で食い下がるが、最後まで点差を詰めることができず、鳴東が第2セットも連取し勝利を収めた。



女子優勝チーム 「安城輝 V B C」

〈女子決勝戦〉

安城輝 VBC(西三河 第1) 2 $\left(\begin{array}{l} 21-12 \\ 18-21 \\ 15-13 \end{array} \right)$ 1 二川クラブ(東三河 第1)

決勝は準決勝をフルセットでものにした両チームの対戦となった。第1セットは、序盤から安城が好レシーブ、サービスエースでリード。二川はリズムに乗りきれずセットを失う。第2セットは、一進一退の攻防となったが、最後に二川のエースがスパイクを決め第3セットに突入。第3セットも1点を争う展開から8-6と二川リードでコートチェンジ。直後に安城がサービスエースで同点とし、最後はエースの強打で逆転勝利を収めた。



混合優勝チーム 「愛知六南」

〈混合決勝戦〉

愛知六南(西三河 第1) 2 $\left(\begin{array}{c} 21-13 \\ 10-21 \\ 15-13 \end{array} \right)$ 1 はやて(名古屋 第1)

スターティングメンバーが、はやては男子1人・女子5人、六南は男子5人・女子1人と対称的な両チームの対戦となった。第1セット序盤、はやてのミスが続き0-6と六南がリード。最後まではやてのレシーブが安定せず六南が先取。第2セットは、はやてがサーブで崩し6-1とリード。その後も着実に得点を重ね第2セットを奪取。第3セットは、両エースの強打で息詰まる展開。最後は六南がブロックを決め、熱戦にピリオドを打った。